

この度は aquamind laboratory Potassium Carbonate (炭酸カリウム) をご購入いただき誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては以下の使用方法に従い、注意事項をお読みになった上で、ご使用していただきますようお願いいたします。

本試薬のご利用について

本試薬の炭酸カリウムは水草の栄養剤として利用するためのものです。それ以外でのご使用は絶対に行わないようお願いいたします。

本試薬は、極めて純度が高い炭酸カリウムであることから(純度は 99.5% 以上)、水に容易に溶け、100ml の水に対して 112g まで溶かすことが可能です。実際の使用に際しては、10% 程度の濃度の溶液を最初に別途作製しておき、それを定期的に水草を含む水槽中に適量添加することを推奨いたします。

直接粉末自体を水草を含む水槽中に添加すると、過剰量添加しすぎて、魚や水草にダメージを与える危険性や、魚がいる場合、直接摂食してしまう危険性があることから、上記のように最初に希釈した溶液を作製しておくことを強く推奨します。

炭酸カリウムを溶解させた溶液自体の pH は約 11 と、かなりの強アルカリ性となります。適量を超える添加は pH の急激な変化も生じさせる恐れがあることから充分にお気をつけください。適量の場合は pH への影響はほとんどありません。

標準的な添加量は、10% 炭酸カリウム溶液の場合、1日に、水 30 リットルに対して 1 ミリリットル程度です(60cm 水槽の場合、2 ミリリットル程度)。

この量は、水槽の大きさ、水草の量、水草の調子などから判断し調節してください。10% 炭酸カリウム溶液を添加するために、右の図のようなプッシュポンプ付き容器を用意すると便利です。



ただし、洗剤・シャンプー類の容器は、元の溶液が残存していると生物に悪影響を及ぼしますので、できるだけ新品の容器をご用意することをおすすめします。

希釈溶液作成例

ここでは実際に 10% の炭酸カリウム溶液の作り方の例を示します。必ずしも濃度は 10% のものを作製する必要はありませんが、この濃度のものは実際に使いやすいと思われれます。

下の例では 10% 炭酸カリウム溶液を 300 ミリリットル作る場合の例を示します。各自の作製量に合わせて容量は調整変更してください。

- 炭酸カリウム粉末を 30g (最終溶液の 1/10 量) 測り取ります。家庭用の測りの精度で充分です。
- 最終溶液量から少し少なめの水に測り取った粉を入れます。(水に粉を加えてください。逆の順序で粉に水を加えることは避けてください。) 水は市販の蒸留水が理想ですが、カルキした水道水でも大丈夫です。
- 試薬の粉が完全に見えなくなるまでよく混ぜて溶かします。
- 溶かした後に、さらに少しの水を加えることで最終溶液量に合わせます。
- プッシュポンプ付きの容器に移し替えます。
- 完成です。



添加量の目安

用意した容器の 1 プッシュが何ミリリットルかを最初に確認しておく必要があります。ほとんどの容器は 1 プッシュ 1 ~ 2 ミリリットル程度のもので多いです。

確認方法としては、100 ミリリットルの水を何プッシュで全部出し切ったかから計算する方法や、1 プッシュの排出量の重さを測りで測定して計算する方法などがあります(水の重さは 1 ミリリットルで 1 グラムです)。

下の記載は目安の添加量です。生育環境に合わせて適時調節してください。

水槽の大きさ	水の量	10% 溶液添加量
30cm キューブ水槽	25 l	0.5 ~ 1 ml
45cm 水槽	35 l	1 ~ 1.5 ml
60cm 水槽	60 l	2 ml
90cm 水槽	200 l	6 ml

より詳しい情報

ここに記載した情報よりもさらに炭酸カリウムに関する詳しい情報を WEB ページに記載しておきました。<http://aquamindlaboratory.com> をご参照ください。

注意

- 試薬を水草の成長促進栄養剤として以外の用途には絶対に使用しないでください。
- 試薬は水分を吸収して溶ける性質がありますので、使用後は必ずふたを閉め、なるべく湿度の低いところに保存してください。
- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 皮フに付いた場合はすぐに水でよく洗い流してください。
- 目に入った場合は、すぐに水で洗い流し医師に相談してください。
- 誤飲した場合は、すぐに大量の水を飲み、医師に相談してください。



試薬容器: PE



取扱説明書